

常盤台では例年のごとくあわただしい卒業・修了のシーズンを過ぎて春を迎え、新たな年度に歩みを進めたところでございます。皆様いかがお過ごしでしょうか。この間、元号が「令和」に改められました。昭和から平成への皇位継承とは異なり、また初めて中国の古典から離れたという点においても、新しい時代に対する期待と希望を感じさせてくれます。首相談話によれば、「人々が美しく心を寄せ合う中で文化が育つ」といった意味をこめたとのこと。人が作り出すものが artificial であれば、文化は芸術の専売特許ではなく、工学を含めた教育・研究と、その多くがこれに基づく産業及び経済活動と切り離すことはできないでしょう。バブル崩壊に始まり、未曾有の自然災害に見舞われた平成とは違った意味で、平安で静かだけでもスマートできめ細かくて優しい、さらに成熟した近未来を祈念しているところです。

さて、工学部は今年創立80周年を迎えます。「こーがくぶは宝箱～宝箱の鍵をお渡しします～」というキャッチコピーを覚えておいての方も少なくないと思いますが、工学部では

堤工学部長を中心として、令和元年を創立100周年に向けた新たなスタートとして位置づけ、いくつかの行事を行う予定にしています。教育・研究の現場は人類の「宝」たる学生や研究者といった人材育成のためのTPO (Time, Place and Occasion) に他なりません。大学が維持し、育み、伝え続けるべきは、技術の本質たる intelligence をつかむための方法論であり、広く社会で活躍される同窓生諸氏からのご指導ご鞭撻に負うものであることは言を俟(ま)ちません。

本年度の「工学部ホームカミングデー」は11月15日(金)と16日(土)の2日間に分けて開催され、15日夕方には卒業生、教職員、学生間の交流会が実施される予定です。是非この機会に母校にお寄りいただいて旧交を温めていただくとともに、後輩や後進たちに忌憚のないご意見やアドバイスをいただけると幸いです。最後になりましたが、「常盤」83号に愛情あふれる投稿をいただきました皆様に深くお礼申し上げます。

(電電：村田 卓也)

「常盤」編集委員長：朝位 孝二
(社会建設工学科)

編集委員

森田 実 (機械工学科)
梶山慎太郎 (社会建設工学科)
山吹 一大 (応用化学科)
村田 卓也 (電気電子工学科)
藤田 悠介 (知能情報工学科)
小林 剛士 (感性デザイン工学科)
田中 一宏 (循環環境工学科)

常 盤 83号

令和元年7月25日発行

発 行 一般社団法人 常盤工業会

編 集 『常盤』編集委員会

〒755-0039 宇部市東梶返1-10-8

T E L (0836) 32-7599

F A X (0836) 22-7285

E-mail tokiwa@bc.wakwak.com

<http://park14.wakwak.com/~tokiwa/>

振替口座 01550-5-25085

印 刷 児玉印刷株式会社